

平成 26 年度 第 212 回教育研究審議会議事要録

日時 平成 26 年 10 月 7 日（火）13：30～14：10
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、江本事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、二宮法学部長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、田部井国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長、片岡地域創生学群学類長（眞鍋地域創生学群長代理）

配布資料

- 1-1 教員の異動に係る組織人事委員会審議結果
- 1-2 文学部比較文化学科教員採用（平成27年4月1日採用）選考委員会（変更案）
- 2 平成26年度前期学友会交渉申し入れ書（回答案）
- 3 大学院担当教員の資格審査結果について【報告】
- 4 平成26年度公立大学法人北九州市立大学内部監査実施計画について
- 5 教職員の功績表彰について

第 1 号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、社会システム研究科専任教員2名の学部への異動について提案。

- 社会システム研究科専任教員 2 名の学部への異動について、9月30日に開催した第 5 回組織人事委員会において、関係部局長出席のもと審議を行った。当該異動対象者から異動に関する内諾がとれており、異動後の学部での担当科目についても調整を終えている。また、今回の異動については定数の変更を伴うものである。
- 同研究科の責任体制及び関連規程の改正については、本年度内に調整し教育研究審議会に提案する。
- 法学部政策科学科に異動予定の 1 名について、担当可能な科目として自治体の「国際政策等」との表記があるが、正しくは「国際化政策等」であるため修正されたい。
- 社会システム研究科専任教員が学部へ異動した後の同研究科の運営は、学部の教員が担当することとなるのか。
- 異動後は、他の研究科と同様に、学部との調整のうえ学部所属の教員が担当することになる。
- 文学部比較文化学科に異動予定の 1 名は、同研究科において担当している特別研究科目を異動後も担当するのか。
- 引き続き担当する予定であるが、今後の調整により担当教員が変更になる可能性もある。

【議長】資料修正の上、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料1-2のとおり、文学部からスペイン語圏文化分野担当教員の採用にかかる選考委員会委員の変更について提案。

- 前回の教育研究審議会では本審議会委員の国際教育交流センター長が辞任した。第206回教育研究審議会（平成26年6月10日開催）で設置した教員採用選考委員会に教育研究審議会からの委員として当該委員が含まれていたことから、委員 1 名を変更することとしたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 学友会交渉申入書回答案について

* 資料2のとおり、学友会交渉申入書回答案について提案。

- 第210回教育研究審議会（平成26年9月9日開催）で示した回答案に対する部局からの意見を取りまとめた結果、授業料に関し、一部文言を修正した。本日の教育研究審議会で承認後、学友会に回答したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 大学院（国際環境工学研究科）担当教員の資格審査結果について、資料3のとおり報告があった。
- ② 平成26年度内部監査（大学内部監査・公的研究費）実施計画について、資料4のとおり報告があった。
- ③ 教職員の功績表彰について、資料5のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を10月28日（火）に開催する予定である旨、報告があった。